

全小中に無線LAN

越前市方針 タブレットも配置

学校ICT(情報通信技術)の環境構築を進めている越前市は来年度、市内の全小中学校に無線LANを整備し、クラス全員が使える学習用タブレット端末の配置を目指す。2日に市役所で開かれた市総合教育会議で委員に説明した。

来年1月までに改定、策定する「市第三次教育

技術・家庭科室の特別教室にも常設する。図書室の蔵書管理や貸し出しシステムの機能も向上させる。来年3学期からの整備を予定している。

教育会議は本年度2回目、委員からは「越前市では幼少期からのICT教育が当たり前になっており、さらに子ども同士の学習意欲向上につながる」といった意見が出た。

(奥出剛士)

学校の情報化計画(2018年9月～24年8月)に盛り込む。タブレット端末とデジタル教科書の活用により、双方向性の授業を実現するとしている。18年度にスタートする国の新学習指導要領が掲げる「主体的・対話的で深い学びを生み出す」学習に役立てる。

計画では小学校1校当たり60台程度、中学校は同60～90台のタブレット端末を配置。小学校で1060台、中学校で655台の新規導入を目標としている。校内LANは有線から無線に切り替え、WiFi(ワイファイ)環境を整える。

また、普通教室だけに常設されていたパソコンと電子黒板は、理科室、